

事業名：子育てサロン事業

子育て支援室参事（子育て支援政策）

政策	03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実								
施策	03 子育て環境の充実								
基本事業	01 地域子育て支援の充実								
開始年度	平成18年度	終了年度	平成25年度	実施計画 事業認定	対象	会計区分	一般会計	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
就学前児童と保護者	
手段（事務事業の内容、やり方）	
子育てサポーターの活動などにより地域における子育て支援の場（サロン）を開設する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
子育てに関する情報交換や保護者がリフレッシュできる地域子育て支援を行う。	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	就学前児童数	人	4,852	4,786	4,716	0
対象指標2	就学前児童の保護者数（把握困難）	人	0	0	0	0
活動指標1	子育てサロンの数	カ所	4	4	4	0
活動指標2	子育てサポーターの延活動人員数	人	87	86	82	0
成果指標1	子育て事業参加者数	人	1,668	1,467	1,240	0
成果指標2						
事業費(A)		千円	225	206	212	0
正職員人件費(B)		千円	3,210	6,012	4,688	0
総事業費(A+B)		千円	3,435	6,218	4,900	0

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	子育てサロン運営経費	<ul style="list-style-type: none"> 子育てサロン会場使用料 9千円 子育てサポーター等のボランティア保険 9千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
子育てサポーターなど地域の子育て支援の場の創設を行う。	
事業を取り巻く環境変化	
核家族化などにより、子育てに対する負担・不安が大きくなってきており、身近な場所で乳幼児及び保護者の相互交流・子育て相談、助言など子育て支援に対するニーズが高まっている。 H26年度からは、あそびのひろば事業として、子育て知識啓発事業のうち出張型の出張ひろば（親子にこにこひろば）及び親子安心育成事業（地域ひろば事業）を統合し、相互の連携を強化するとともに市内全域での子育て支援体制の整備を図る。	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由根拠 地域の人材をボランティアスタッフとして協力してもらい運営しており、地域に密着した支援が可能となり、子育てを通じた地域の人材育成とともに地域コミュニティの醸成が図られることから妥当である。
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由根拠 子育て中の親にとっては、子育て情報の収集や相談など、子育てに関する負担や悩みの軽減に繋がり、子育て支援の環境充実が図られるとともに、交流の場を提供することにより、地縁的人間関係の希薄化の中においても、子育てを通じたネットワークが生まれるなど貢献度は大きい。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由根拠 地域のボランティアスタッフにより自治会館などを活用し実施しており、身近な子育て支援事業として利用者も増加している。また、広報活動により、事業に対する認知度も増している。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由根拠 自治会館等を活用し実施していることから、地域での冠婚葬祭等の行事が優先され実施できない場合があるが、ボランティアスタッフとしての地域人材の活用・協力を図り、開催地域の拡大につなげていくことにより向上する可能性がある。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありませんか？	
ある なし	理由根拠 事業運営に係るスタッフは全てボランティアであり、必要最小限の経費で運営していることからコスト削減の手立ては見出せない。